

令和7年度 市勢振興功労者 市勢の発展に尽くした功績を表彰

本年度の市勢振興功労者に3人が選ばれました。市勢振興功労者表彰は、公共の福祉の増進と市勢の進展に尽くした功績が極めて顕著な人または団体を顕彰するもので、市の表彰では最も荣誉ある表彰です。受賞者は、学識経験者や市議会議

員などで構成する市表彰選考委員会の答申を受けて決定しました。本年度の受賞を含め、これまでに335人と26団体を表彰。表彰式は11月3日(月)、中央公民館(愛宕町)で開催します。
【問】総務課 ☎626-7513 【広報ID】1054476



及川 陸男^{むつお}さん
Mutsuo Oikawa

老人クラブ梨の木会会長、桜城地区老人クラブ協議会会長として社会貢献活動に尽力したほか、盛岡市老人クラブ連合会会長として卓越した識見により組織の充実強化に貢献。また、盛岡市老人生きがい事業実行委員会会長としては、ニュースポーツ交流大会の開催など、健康づくりのみならず仲間づくり・地域づくりにつながる取り組みにより、本市の高齢者福祉の増進に大きく寄与した。(昭和9年生まれ・梨木町在住)

老人クラブ活動による高齢者福祉の増進

前会長に推されて老人クラブの会長となりましたが、さまざまな活動を通じて、教員時代には分からなかった地域のことを知りました。老人クラブは高齢者の融和や情報交換の大切な場です。お茶会などの開催や会報の発行を続けることで、自分のまちに恩返しができると思っています。
老人生きがい事業実行委員会の会長としては、コロナ禍で中断していた老人スポーツ祭典に代わるニュースポーツ交流大会を開催し、誰でも簡単に参加できる「ボッチャ」を市内各地に広めることで、高齢者の交流の機会をつくることができました。
これまで活動が続けられたのは、自分一人の力ではなく、地域の皆さんや行政など周囲の助けがあったから。盛岡がこれからも、互いに声を掛け合い助け合えるようなまちであり続けてほしいです。



相澤 徹^{とる}さん
Toru Aizawa

盛岡市子ども・子育て会議において11年間にわたって会長を務め、子どもを取り巻くさまざまな課題の解決のために子ども・子育て支援事業計画の推進に尽力。また、盛岡市子ども計画の策定に際しては、地域全体で子ども・若者の権利を尊重することなど同計画の根幹となる理念を構築したほか、学校法人を運営する立場で子どもの権利を尊重する活動を先導するなど、本市の子ども・子育て施策の発展に多大に貢献した。(昭和23年生まれ・東緑が丘在住)

子どもの権利尊重と子ども・子育て施策の推進

県の教育長時代から、社会が変化する中で子どもたちは難しい状況にあると感じてきました。例えば、ゲームや交流サイト(SNS)の影響、大人向けの情報が子どもの目に触れる、子ども同士で遊ぶ機会の減少、そして時間に追われる大人の生活や経済格差なども子どもたちに大きな影響を及ぼしていると思います。
平成25年の創設から携わった盛岡市子ども・子育て会議においては、そういう状況を踏まえ、さまざまな立場にある委員の意見が持つ意味やその重さを見逃さずにすくい上げながら議論を深め、子どもや子育て世代に寄り添った計画を策定できるよう努めました。
社会の変化に対応して教育や子ども・子育て施策が変わっていく必要があると思いますが、その土台になるのは常に子どもの権利や主体性を重んじ、一人の人間として尊重するという理念。これからもそういう理念を深めるために努力していきたいです。



大塚 尚寛^{なおひろ}さん
Naohiro Otsuka

盛岡市クリーンセンター公害監視委員会の初代委員長として、27年の長きにわたり公害防止対策に尽力。特に排ガス処理については、高度な知識経験に基づいて最善の対処方法を助言するなど、クリーンセンターの安全・適切な運営により、本市の環境衛生の確保に貢献した。また、排ガスなどの運営全般に関する状況について、客観的な見解を周辺住民へ丁寧に示し続け、市と地域との信頼関係の形成に大きく寄与した。(昭和27年生まれ・黒石野一丁目在住)

環境衛生の確保と信頼関係の形成

大気環境工学が専門分野で、岩手大に赴任した昭和55年からごみ焼却場の排ガスの有害物質を調査研究していました。そして、クリーンセンターが供用開始された平成10年から公害監視委員会に関わることとなりました。
クリーンセンターが停止すると市民生活に多大な影響を及ぼすことから、施設・設備のトラブルを防ぐため、日常の操業の中に潜むインシデント(アクシデントにつながる可能性のあるもの)を見逃さないよう心掛け、市への助言や指導をしてきました。また、周辺住民に対しては、クリーンセンターの安全性を科学的データに基づいて客観的に説明し、理解を得ることに努めてきました。
環境衛生を巡っては、今般の地球温暖化や人口減少社会の到来で新たな問題に直面するかもしれませんが、盛岡が安心して暮らせるまちであり続けることを願います。

今月号の「もりけんに挑戦」はお休みしました	広報もりおかへのご意見をお待ちしています アンケート専用フォームから、特集や各記事への意見をお寄せください。あなたの意見が広報もりおかを育てます。		編集後記 今回は景観重要建造物とまちづくりの仕組みをご紹介します。ぜひ現地に足を運び、まちの歴史や人々の営み、建築技術などを、お好みの視点から楽しんでみてください。(櫻小路)	地球環境に配慮したインキを使用しています。
-----------------------	--	--	--	-----------------------